

第5回まちづくり市民会議議事録

- 日時 平成21年8月20日(木) 午後6時30分～午後8時20分
■場所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、半田副会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、
新藤委員、高倉委員、塚田委員、徳永委員
奥川係長代理、小川主任

(委員10名、市2名)

【概要】

1. 観光について

- ・資料を配布し、観光について認識を深めた。
- ・「観光」という言葉の語源は、中国の儒教の経典である「易経」によると、「感」はただ漠然と見るのではなく「よく見る(観る)」「しめす(観せる)」のことであり、「光」は文物、政治、暮らし向き、風俗などのことである。
- ・昭和44年の観光政策審議会の答申は、「観光とは自己の自由時間の中で、鑑賞、知識、体験、活動、休養、参加、精神の鼓舞等、生活の変化を求める人間の基本的欲求を充足するための行為(=レクリエーション)のうち、日常生活圏を離れて異なった自然、文化等の環境のもとで行おうとする一連の行動」と定義している。

2. 観光振興に関する法律、計画、報告書等について

- ・資料を配布し、観光振興に関連する法律、計画などを確認した。
- ・「観光立国推進基本法」は、平成19年に観光基本法を全部改正し制定された法律で、観光を21世紀における日本の重要な政策の柱として位置づけている。
- ・「観光圏整備法」は、国際競争力が高く、魅力ある観光地づくりを推進するため、観光地を広域的に連携した観光圏として整備し、国内外の観光客が2泊3日以上滞在できるエリア形成を目指し、平成20年に施行された。
- ・「観光立国推進基本計画」は、平成19年に閣議決定された計画で、平成22年までに「訪日外国人旅行者数を1,000万人」、「日本人の国内観光旅行の宿泊数を年間4泊(1人当たり、現在より1泊増)」を目標としている。
- ・その他、「はばたけ群馬観光プラン」、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」、「景観法」、「エコツーリズム推進法」、「バリアフリー新法」などの法律や「観光白書」などの報告書を確認した。

3. 東部県民局県政懇談会について

- ・西村会長と福田副会長が出席した県政懇談会について報告した。
- ・県政懇談会ではJTBの清水常務が「観光振興は地域づくり」をテーマに講演を行ったが、概要は次のとおりである。
- ・DC(ディスティネーション・キャンペーン)は昭和53年に和歌山から始まり、現在まで百数十回開催され、最近の成功例では「仙台・宮城」がある。
- ・ディスティネーションは、行き先や目的地などの意味がある。

- ・ イベントや観光施設を集めただけでは観光客は来ない。
- ・ 地域における暮らしや人々の活動集を集めるのがDCである。
- ・ 伊香保、桐生市、館林市、みどり市は観光に熱心に取り組んでいるが、太田市は熱心に取り組んでいない。
- ・ 産業があり、人口は減っておらず、財政はまあまあなどの理由が挙げられる。
- ・ 観光客に来てもらうためには街づくりが必要である。
- ・ 観光客の意識は変化しているため、従来の観光振興の手法では通用しない。
- ・ 観光客一人ひとりの要求は異なるが基本は一緒に、①その街にしかないものを食べたい ②散歩しながら面白い所を見たい ③その街の人と話したいである。
- ・ これからの観光はキャンペーンやイベントではなく、街歩きがポイントになる。
- ・ 街歩きには、①古いものを大切にしておく ②街歩きができる街を造る ③ガイドを工夫するなどが必要である。
- ・ コンパクトシティについて太田市の場合は、太田駅前を中心にしてどうやってコンパクトにまとめるかが重要である。
- ・ 太田市の方向性は次の3点である。
- ・ ①観光振興はそれぞれの地域でがんばる（市全体で一本化する必要はない）。
- ・ ②へそが無いと客は来ない → へそをしっかり決め整備する。
- ・ ③産業がだめになった時どうするかを想定しながら将来に向かって考える。

4. 今後の進め方について

- ・ 9月から11月までの3ヵ月で提言テーマを検討し、12月から提言内容の検討に入る。
- ・ 市長への提言書の提出は平成23年1月に予定する。
- ・ スケジュールは進行状況によって変更する。
- ・ 次回の会議は、今後の進め方を引き続き検討するため、6月に各委員が提出した意見用紙に基づき意見発表を行う。その後、太田市の観光について「上手くいっているところ」「上手くいっていないところ」を検討する。
- ・ 各委員は9月11日（金）までに事務局へ「太田市の観光の上手くいっているところ、いないところ」をテーマに意見用紙を提出する。
- ・ 意見用紙はA4サイズ1枚とし、「上手くいっているところ、いないところ」の理由も記載する。

5. その他

- ・ 群馬DC（ディスティネーション・キャンペーン）は、現在、提案している観光ポイントを巡るモデルコースを修正しながら、平成23年度の本番を迎えることになっている。市民会議においてもお勧めできる観光ポイントが提案できるよう検討する。

【次回の会議】

日時 9月17日（木） 午後6時30分～
 場所 太田市役所10階 政策推進会議室